

# 中根式速記法体系

## 前書き

中根式が大正3年5月10日の大阪毎日新聞に発表されてから平成16年に90周年を迎えました。この間、各地の中根式研究者によりいろいろな法則が発表されてきました。

この「[中根式速記法体系](#)」は、各地の研究者が発表されたものを整理して1冊にまとめたものであり、特に代表的な6つの法則体系を選び、他の法則体系で特におもしろいと思われるものを紹介しました。

この資料では、各地の研究者の法則体系を「〇〇の体系」という言葉で分類しました。

各中根式関係の文献から各縮記法・各略記法の比較ができるように作成しております。

中根正親先生が創案当時から数年間指導された体系を「[中根正親の体系](#)」、中根正世先生によって大成された体系を「[中根正世の体系](#)」、昭和4年から昭和53年7月31日まで、東京・中根速記学校で指導された体系を「[中根速記学校の体系](#)」及び「[中根校の体系](#)」、兵庫県を中心に関西地区で広く普及している稲垣正興先生の体系を「[稲垣正興の体系](#)」、京都の森卓明先生の体系を「[森卓明の体系](#)」、香川県立高松商業高校速記部及び授業で指導され、香川県内で広く普及している植田裕先生の体系を「[植田裕の体系](#)」を、中根式内の代表的な6つの法則体系を中心にまとめました。

この「中根式速記法体系」は、中根式の速記法則体系を歴史的な流れとして後世へ残すために作成いたしました。中根式90年の輝かしい歴史において、速記法則の進歩を知るためにも貴重な文献になると思います。

従来のテキスト等と違うところは、第1編「縮記法」、第2編「品詞類」、第3編「略記法」に分けております。

縮記法、略記法の順序はバラバラになっておりますし、各速記法則の説明を省略したので、中根式以外の速記関係者には理解しがたい部分があると思います。

「中根式速記法体系」の対象者は[中根式一応修得した人たち](#)としております。

平成18年5月10日

# 1. 中根式の速記法則体系

大正3年5月10日に中根式が発表されてから、今日に至るまで各地の研究者により、いろいろな速記法則が発表されております。ここでは中根式の主な法則体系について簡単に説明します。

中根式の速記法則体系を大まかに分類すると下記の9つになります。

中根正親の体系……中根正親（なかね まさちか）

中根正世の体系……中根正世（なかね まさよ）

中根速記学校の体系……東京・中根速記学校

植田裕の体系……植田 裕（うえた ゆたか）

稲垣正興の体系……稲垣正興（いながき まさおき）

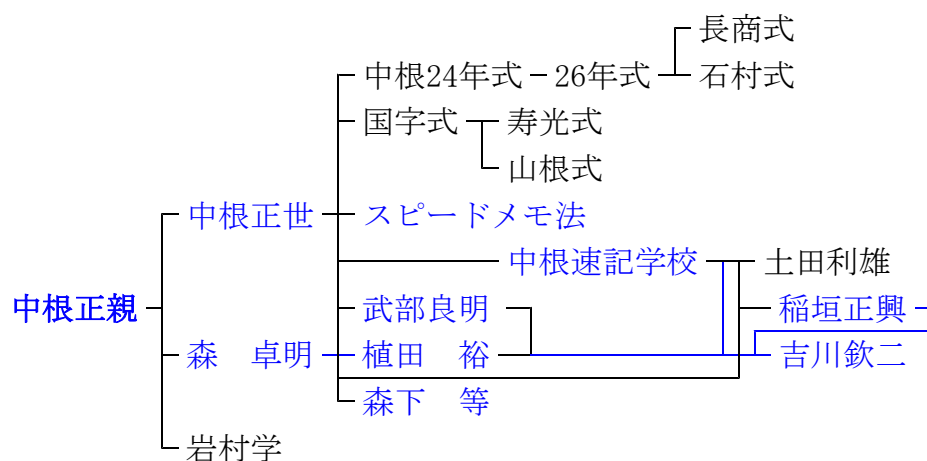
森卓明の体系……森 卓明（もり たくみょう）

森下等の体系……森下 等（もりした ひとし）

武部良明の体系……武部良明（たけべ よしあき）

吉川欽二の体系……吉川欽二（よしかわ きんじ）

これらの各速記法則体系を総称して中根式といいます。



では、速記法則体系について簡単な説明しましょう。

## 中根正親の体系

中根正親先生が大正3年5月10日に発表されたものであり、中根式各法則体系の母体となりました。現在は指導されておられません。

「中根式速記法講解」は中根式の原形を知るためにも、中根式関係者は必読してください。

## 中根正世の体系

創案者の令弟・正世（昭和31年に正雄と改名）先生が中根正親の体系を大正末期より整理・改良し旧制の全国中等学校を中心に普及したものです。

この中根正世の体系が中根速記学校の体系の源流になる一方、当時、旧制中等学校

の生徒だった稲垣、植田、森下、各速記法則体系の原点になっております。

中根正世先生が昭和2年に刊行をした「[通俗中根式速記法](#)」及び昭和27年の「[中根式速記](#)」は中根式のバイブルです。中根式関係者は必読してください。

### 中根速記学校の体系

中根正世の体系と中根速記学校の体系は一般的に同一のものと思われがちですが、昭和4年7月から東京・九段の中根速記学校で指導された法則体系は中根正世の体系ですが、昭和7年10月ごろから、池田正一（いけだ しょういち）先生が中心になって「研究会」ができました。「通俗中根式速記法」の体系に中根速記学校独自の体系を追加して中根速記学校の法則体系が確立されました。その後、池田正一先生、曲尾啓之助（まがりお けいのすけ）先生、北村蘊雄（きたむら もりお）先生たちにより研究され、戦後は池田正一先生が中心になり、改良されたもので、昭和53年7月31日まで指導されました。

戦後の中根速記学校の体系は指導する先生（池田正一、江森武、西宮純一郎）によって法則体系に多少の違いがあります。

なお、完全な中根速記学校の体系の指導を受けたのは昭和52年4月入学生が最後です。

### 植田裕の体系

四国の香川県立高松商業高校速記部を中心に、丸亀商業、志度商業速記部で使用され香川県内で広く普及しております。香川県では中根式関係者のほとんどが植田裕の体系で占められております。

従来の中根式（※中根正世の体系、中根速記学校の体系、稲垣正興の体系）とはかなり異質な符号体系であり研究に値しております。

植田裕先生は昭和22年から一先輩として母校（香川県立高松商業高校）の速記部を指導し、昭和26年4月から同校の教員として昭和45年3月末まで速記部で指導されました。24年間にわたる速記指導の中で植田裕先生が目指したものは、流麗な速記符号、各法則間の矛盾の排除でした。植田先生の研究は高校教員になる前の4年間は新聞社で実務速記者としての経験と、高校教員としての指導の傍ら、地元の実務速記を手がけるなどして単に机上の空論ではなく実務から割り出した研究であり、その速記教育法・速記教育課程（カリキュラム）の開発です。

昭和45年4月から東京で速記実務の傍ら研究を続けております。

この「中根式速記法体系」で採用した植田裕の体系は香川県立高松商業高校速記部で昭和44年4月から昭和45年3月まで指導されたものです。

### 稲垣正興の体系

関西地区の学生速記界を中心に普及しております。関西地区の中根式関係者のほとんどが稲垣正興の体系です。

また、中部地区の愛知大学速記研究会（現在は廃部）、関東地区の学習院大学速記研究会（現在は早稲田式）にも部分的に採用されておりました。

## 森卓明の体系

中根式の法則体系の中では古い歴史があり、「超中根式速記法」を昭和6年に発表以来、中根式関係者に大きな影響を与えました。「超中根式速記法」は中根式の体系に、理論的に一番近いので中根式関係者には一読に値する書物です。

超中根式→中根式表象法→現代国語表象速記法と研究され、現在では、従来の中根式とはかなりかけ離れた法則体系をなして、森式として1方式に数える存在です。

超中根式→中根式表象法までを森卓明の体系として扱っております。

「現代国語表象速記法」は森式です。

## 森下等の体系

文法的見地から見た符号配置の研究があります。形容詞・形容動詞・副詞・動詞・助動詞等。

なお、昭和43年3月、市ヶ谷出版刊の「中根式速記」は中根速記学校の池田正一先生、中根洋子先生の共著になっておりますが、内容は中根速記学校の体系ではなく森下等の体系です。

## 武部良明の体系

「学生速記」という名称の書物の割には、かなり高度の理論展開をしております。基本文字は多少違いますが、理論的に従来の中根式に十分応用できます。指導者・研究者には一読に値する書です。

実務に使用されていた人を1人確認しております。

## 吉川欽二の体系

植田裕の体系、武部良明の体系、中根速記学校の体系、森卓明の体系を参考にし、吉川さんが研究した独自の体系です。法則的にもかなり細かい部分まで研究されております。

中根式の指導者・研究者には必読に値する文献です。

また、中根式から派生した方式として

昭和5年10月に岩村 学（いわむら さとる）の岩村式（カナ速記）。

昭和6年2月11日に国字常弘（古久保峯吉＝ふるくぼ みねきち）の国字式。

昭和9年6月に土田利雄（つちだ としお）の土田式。

昭和18～19年に国字寿光（古久保峯吉）の寿光式（基本文字は同じ）。

昭和23年に河島貞三（かわしま ていぞう）の超高中根式。

昭和24年に石村善左（いしむら ぜんさ）の中根24年式。

昭和26年に石村善左の26年式＝石村式。

昭和26年に国字式を改良した山根祐之（やまね すけゆき）の山根式。

昭和28年に中根24年式と衆議院式の影響を受けた小西佐都志（こにし さとし）の長商式（長崎商業の略）。

昭和33年8月12日に中根正雄先生のスピードメモ法（即席速記法→簡易速記法→ス

ピードメモ法)  
があります。

## 各法則体系の文献類

### 中根正親の体系

- 中根正親著：中根式 日本語速記法（中根式速記法講解）（大正5年2月 日）
- 本山桂川著：応用速記術の秘訣（大正14年12月1日）
- 兼子次生著：中根式日本語速記法 第二編（昭和56年4月29日）

### 中根正世の体系

- 中根正世著：通俗 中根式速記法（昭和2年11月15日）
- 中根正世著：中根式速記読本（昭和9年7月8日）
- 中根正世著：中根式速記講座 上巻（昭和22年5月20日）
- 中根正世著：中根式速記講座 中巻（昭和22年5月20日）
- 中根正世著：中根式速記講座 下巻（昭和22年5月20日）
- 中根正世著：中根式速記（昭和27年4月 日）
- 中根正世著：中根式速記入門（昭和39年 月 日？）
- 中根正雄著：中根式速記通信教育 普通科コース（昭和44年3月5日）
- 中根正雄著：中根式速記通信教育 高等科コース（昭和44年3月5日）
- 中根正雄著：中根式速記通信教育 研究科コース（昭和44年3月5日）
- 中根康雄著：速記マスターノート 上巻（昭和48年6月25日）
- 中根康雄著：速記マスターノート 下巻（昭和50年4月5日）
- 中根康雄著：全国速記検定試験5段合格への道 プロ検定1級合格への道（昭和57年2月）

### 中根速記学校の体系

- 中根洋子著：中根式速記の基本教程（昭和31年12月25日）
- 菅原 登筆：中根速記学校卒業生のノート（指導：池田正一 昭和44年4月入学）
- 横溝武雄筆：中根速記学校卒業生のノート（指導：池田正一 昭和49年4月入学）
- 根岸幸子筆：中根速記学校卒業生のノート（指導：西宮純一郎 昭和49年4月入学）
- 水木能子筆：中根速記学校卒業生のノート（指導：江森 武 昭和52年4月入学）
- 渡辺芳子筆：中根速記学校卒業生のノート（指導：江森 武 昭和53年4月入学）

### 植田裕の体系

- 植田 裕／川田秀幸著：中根式速記法原理 上巻（昭和27年4月3日）
- 植田 裕／川田秀幸著：中根式速記法原理 下巻（昭和27年5月3日）
- 三野知子筆：高松商業高校速記部員のノート（指導：植田 裕 昭和32年4月入学）
- 川田秀幸著：ウツシングのすすめ（昭和42年5月7日）
- 田口京子筆：高松商業高校速記部員のノート（指導：植田 裕 昭和44年4月入学）

植田 裕著：符号の広がり（昭和54年2月10日）

植田 裕著：中根式速記法における順記法の導入（昭和54年8月27日）

### 稲垣正興の体系

稲垣正興著：学生の速記（昭和27年5月1日）

稲垣正興著：学生の速記（昭和44年4月1日）

稲垣正興著：速記学習ノート 上（昭和50年4月1日）

稲垣正興著：速記学習ノート 下（昭和49年9月1日）

稲垣正興著：高校速記クラブ 指導の手引き（平成4年4月1日）

### 森卓明の体系

森 卓明著：超中根式速記法（昭和6年12月5日）

森 卓明著：中根式表象法 速記通信教室（昭和32年7月 日）

### 森下等の体系

中根速記協会：季刊ステノー速記研究誌－No. 1（P42～P48）（昭和32年8月4日）

中根速記協会：季刊ステノー速記研究誌－No. 2（P31～P35）（昭和33年3月31日）

池田正一・中根洋子・森下 等著：中根式速記（昭和43年3月28日）

### 武部良明の体系

武部良明著：独習 学生速記（昭和16年5月25日）

### 吉川欽二の体系

吉川寿亮著：中根式速記研究 基礎編(1)（昭和42年 月 日？）

吉川寿亮著：中根式速記研究 基礎編(2)（昭和42年 月 日？）

吉川欽二著：中根式速記の研究（昭和56年8月1日）

吉川欽二著：中根式速記法教程－中根式速記法基本編－（平成8年5月15日）

吉川欽二著：中根式速記法教程－中根式速記法省略編(1)－（平成8年5月15日）

吉川欽二著：中根式速記法教程－中根式速記法省略編(2)－（平成8年5月15日）

吉川欽二著：中根式速記法研究－中根式を学習された方に－（平成9年9月9日）

### スピードメモ法

中根正雄著：ひらかな、カタカナ応用 即席速記法（昭和42年5月20日）

中根康雄著：中根式速記（上）（昭和45年～昭和48年ごろ）

中根正雄著：だれでもすぐに使える 簡易速記法入門（昭和47年9月10日）

中根正雄著：だれにでもすぐ役立つ スピードメモ法（昭和53年4月15日）

中根康雄著：1時間でマスター スピードメモ法 筆記力がなんと3倍になる（昭和59年8月31日）

中根康雄著：情報速メモ術 聞き書き力を3倍にする実戦教本（昭和63年1月21日）



## 関西大学

兼子次生著：研究ノート（昭和40年10月21日）

## 学習院大学

笈川弘巳著：中根式速記教程（昭和44年10月3日）

小林 寛著：速記教本（昭和47年12月21日）

昭和50年度、51年度指導部：速記教本（昭和51年4月1日）

53年度指導部：改訂新版 速記教本（昭和53年4月1日）

第17代指導部：改訂新版 速記教程（昭和55年4月1日）

第19代指導部：改訂新版 速記教程（昭和57年4月1日）

第21代指導部：Text Of Stenography（昭和59年4月1日）

## 金沢二水

下谷政弘著：中根式速記研究書（昭和36年10月20日）

## 長岡商業

長岡商業高校速記部編：中根式速記（昭和50年3月 日）

高野伸子筆：新潟県立長岡商業速記部員のノート（昭和50年4月入学）

## 西澤政之

西澤政之著：最も粹を集めたる中根式速記法 初等科（昭和28年以前）

西澤政之著：最も粹を集めたる中根式速記法 高等科（昭和28年以前）

西澤政之著：最も粹を集めたる中根式速記法 研究科（昭和28年以前）

## 超高中根式

河島貞三著：超高中根式速記法（昭和23年10月 日）

などが現存しております。

この「中根式速記法体系」では採用をした法則体系の出典を明らかにするために、**[〇〇]** という言葉を各縮記法、略記法ごとに使用しております。

私は指導者自身が**中根式内にいろいろな法則体系の存在を認識しておく必要**があると思っております。

例えば、別の教授所で中根式を学習した学習者を指導する場合に、「どこの教授所でだれに指導を受けたか」と聞くだけで、その学習者がどういう法則体系を使っているか大体的見当が付き、学習者の習得度に応じて、習得した法則体系のままで通すか、あるいは新たに法則体系を指導するかということになります。そこで法則体系を指導するときの仕方も変わってきます。

もし、その指導者が**「各法則体系」**の存在を知らなかったと仮定をしてみましょう。

別の教授所で習った学習者がその指導者のところで指導を受けました。指導者はその学習者の速記文字を見て、学習者が間違っ覚えてきたと思い込んで、自分の法則



体系を指導します。学習者の習得度によっては、学習者が速記文字を切りかえることになります。そして覚える負担が大きくなり頭の中が混乱をして速度が伸びなくなります。下手をすれば、その学習者は速記をやめることにもなりかねないことになります。

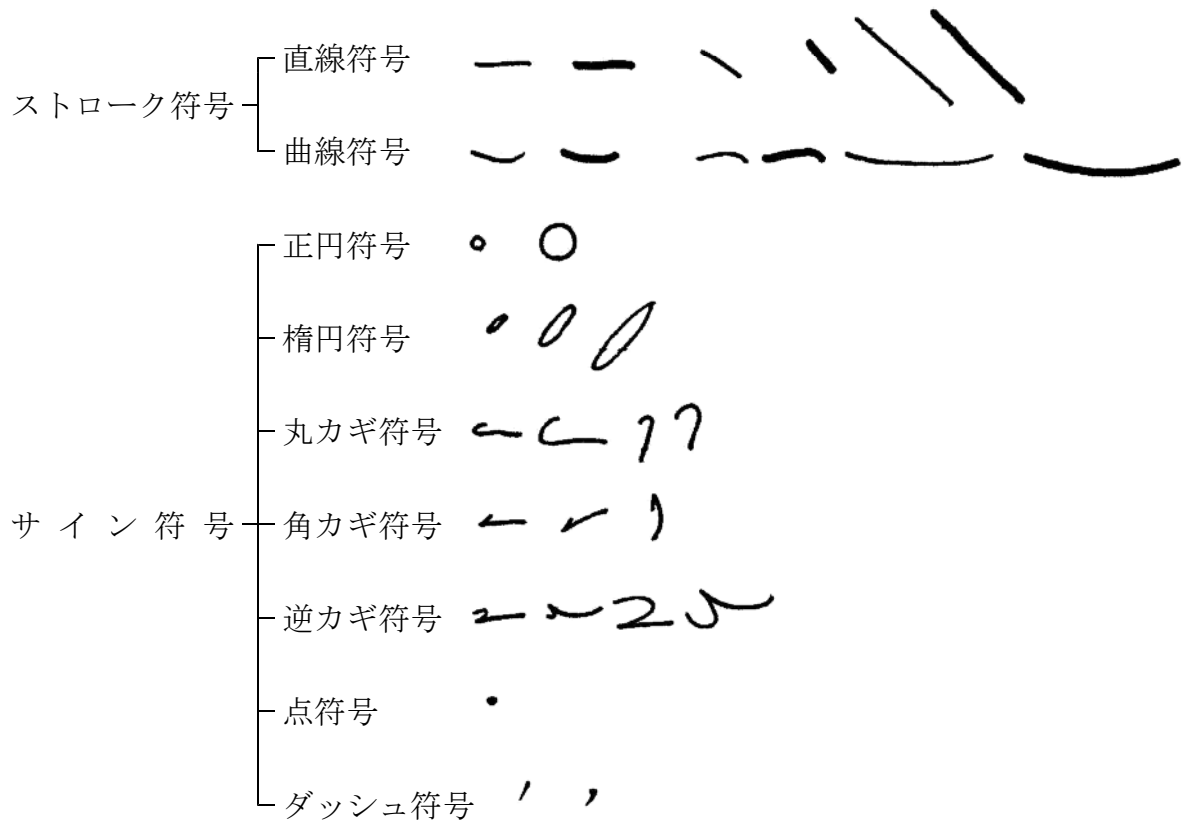
中根式の指導者は各派の文献に目を通して、各派の省略法などにも精通しておかなければならない。と強調をするのは、速記指導者は別の教授所で指導を受けた学習者が、自分の教授所に来た場合には学習者が使用している速記体系を把握しておかなければ、その学習者に向けた指導ができないからです。

## 2. 参考文献

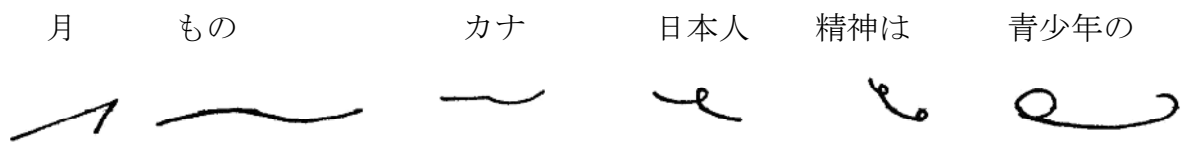
中根正親の体系		
中根正親著	大正5年2月	中根式速記法講解
中根正親著	大正8年8月	第4回 中根式速記講習会資料
本山桂川著	大正14年12月	応用速記術の秘訣
中根正世の体系		
中根正世著	昭和2年11月	通俗 中根式速記法
中根正雄著	昭和44年3月	中根式速記通信講座（普通科、高等科、研究科）
中根速記学校の体系		
中根洋子著	昭和31年12月	中根式 速記の基本教程
池田正一指導	昭和44年4月	中根速記学校生徒のノート（菅原 登）
江森 武指導	昭和52年4月	中根速記学校生徒のノート（水木能子）
西宮純一郎指導	昭和50年4月	中根速記学校生徒のノート（根岸幸子）
植田裕の体系		
植田 裕指導	昭和44年4月	高松商業高校速記部員のノート（田口京子）
植田 裕著	昭和54年2月	符号の広がり
植田 裕著	昭和54年8月	中根式速記法における順記法の導入
植田 裕	昭和30年9月	美しき線の流れ(先頭の諸符号を除去した漢音縮記法)
川田秀幸著	昭和42年5月	ウツシングのすすめ
稲垣正興の体系		
稲垣正興著	昭和44年4月	学生の速記
森卓明の体系		
森 卓明著	昭和6年12月	超中根式速記法
森 卓明著	昭和32年7月	中根式表象法通信教室
森下等の体系		
森下 等	昭和32年8月	中根速記協会研究誌 ステノNo. 1
	昭和33年3月	中根速記協会研究誌 ステノNo. 2
森下 等著	昭和43年3月	中根式速記（市ヶ谷出版刊）
兼子次生著	昭和40年10月	研究ノート（関西大学速記部）
西澤政之著	昭和28年？	最も粹を集めたる中根式速記法（初等科、高等科、研究科）
笈川弘巳著	昭和44年10月	中根式速記教程（学習院大学輔仁会速記研究会）

### 3. 符号について

#### 1. 符号の形象



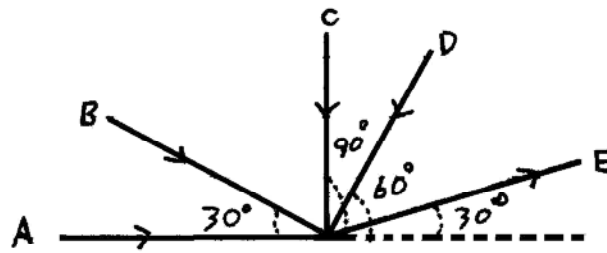
以上の各符号を単独または連続して言葉を表記します。



お話しまして



## 2. 符号の方角 (ほうかく)



## 3. 符号の比率

符号の長短をユニットであらわす。ユニットの符号は **u** であらわす。

直線

曲線

円

楕円

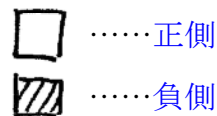
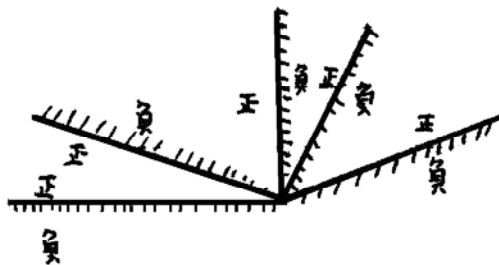
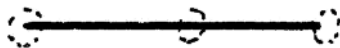


## 4. ストローク符号の位置の呼称

頭部

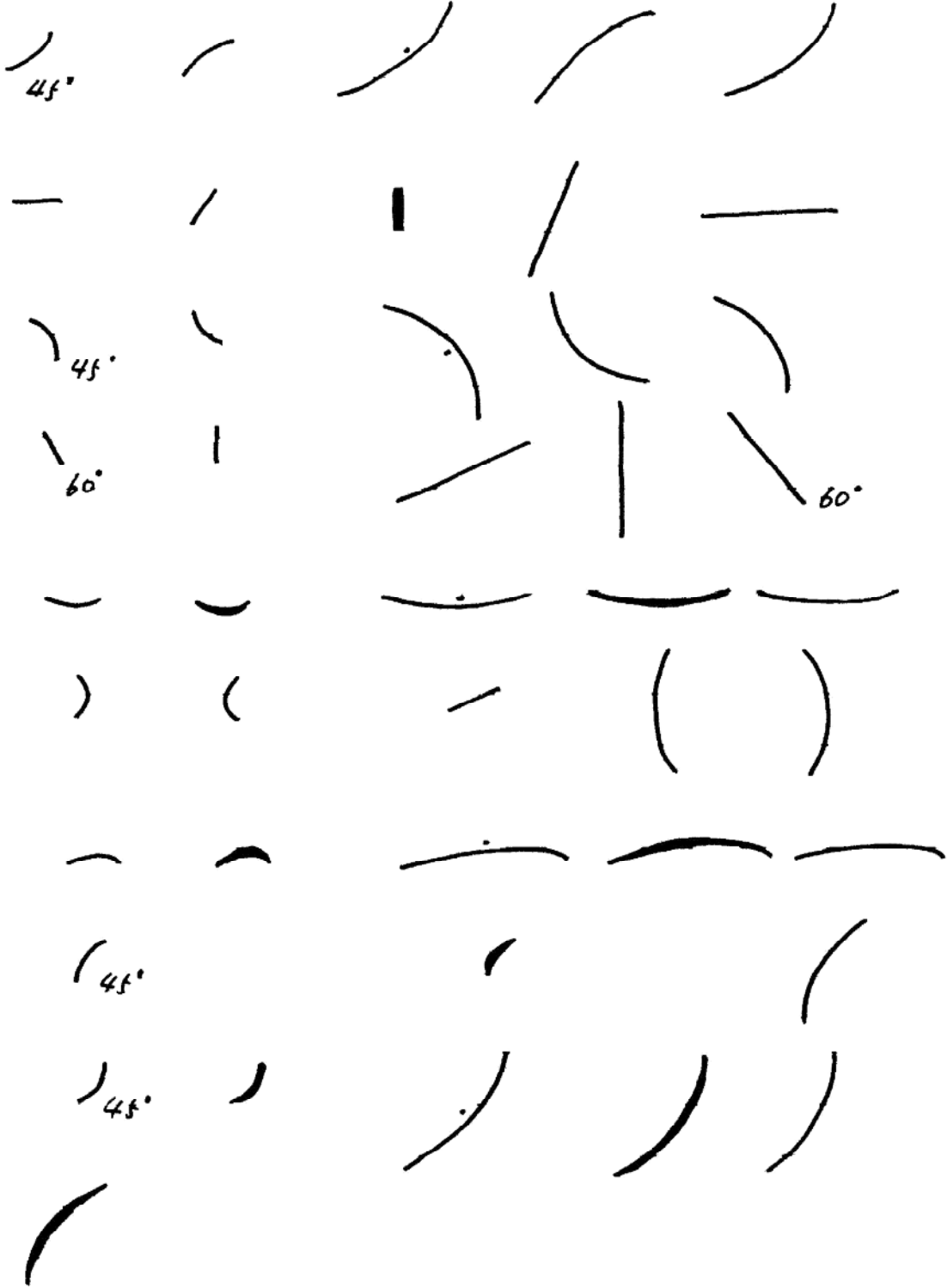
中部

尾部



# 4. 清音記法

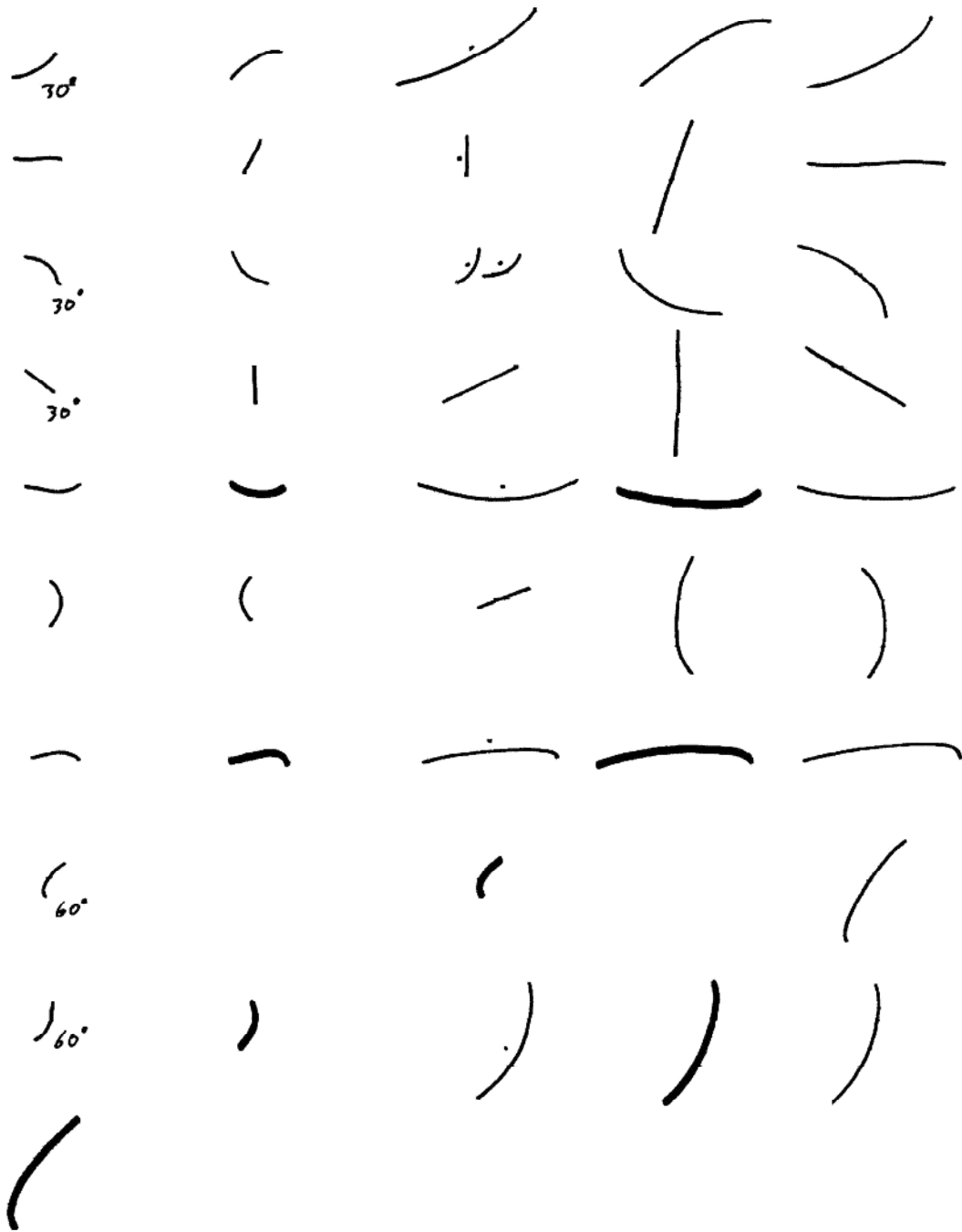
[中根正親]



[中根正世・中根速記学校・稲垣正興・森卓明]



[植田裕]



テ=ト  
45度 6 u

ト=テ  
75度 6 u



[カ行曲線・斜線タ行]

昭和32年の〔植田裕の体系〕



現在、この清音記法を実務で駆使している中根関係者は、大阪府の脇卓二、兼子次生の両氏が挙げられる。現在、植田裕の体系では前ページの清音を使用しております。

[兼子次生]

ヌ

—・—

## 5. 切り線法・ゆりつぎ法

同方向の2直線で、連続する場合は、切り線法とゆりつぎ法があります。

### 1. 切り線法

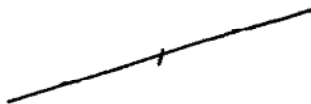
2線を一筆化して書き、継ぎ目を短線で切りますが、なれてきますと切り線を省略できます。

〔中根正世、稲垣正興、森卓明〕

カコ



ツツ

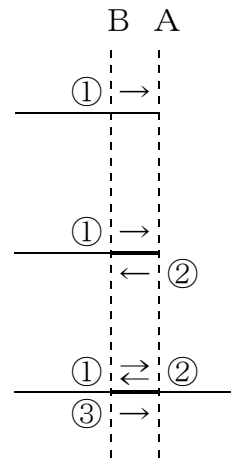


### 2. ゆりつぎ法

最初の字尾をもう一度バックして、次の直線を書くので2線のつなぎ目は往復3回筆が動くことになり、書記上の停滞を生ずるので主として切り線法省略の方法を取っております。

〔拡大図〕

- 1) Aまで一気に書きます。
- 2) 同じ線をB間で戻します。
- 3) Bから同一線上に次の文字を書きます。



カコ



キキ



ツツ



### 3. ゆすり筆法

最初の字尾を少しずらしながら、次の直線を書きます。

[中根速記学校]

カコ



キキ



ツツ



### 4. 線間に小円を入れる……負側

[中根正親]

ココ



ツツ



キキ



※中根正親の体系においては、○ン○のときは、正側に小円を入れます。

ココン



キキン



植田裕の体系では頻度の高い聞きなれた言葉に対して、切り線法（実際には切り線を省略）を使用します。しかし聞きなれない言葉に対しては、切り線を省略すると反訳に困難を感じますので、切り線を入れると一旦筆を離すことになるので、やむを得ずゆすり筆を採用しております。

ゆすり筆法とゆりつぎ法は違います。

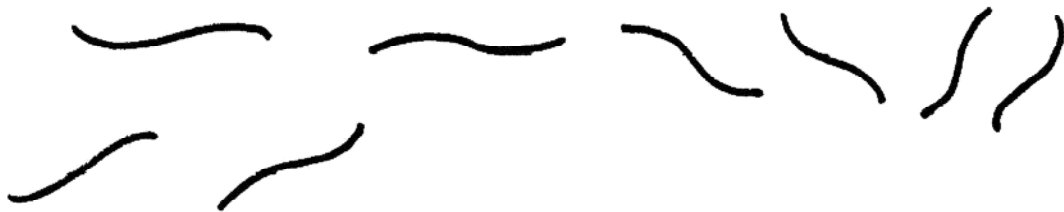
## 6. 曲線符号の連続

[融合化]

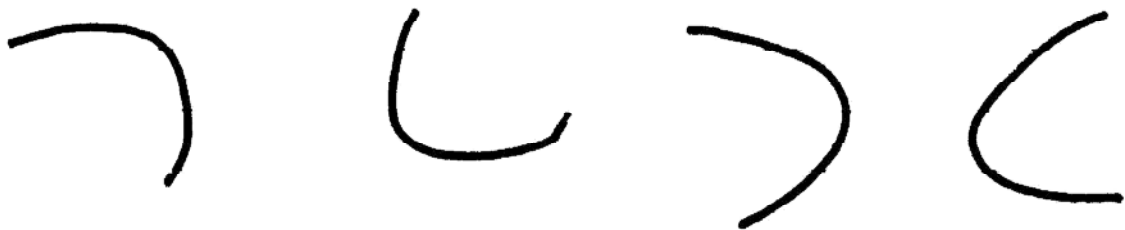
1. 鋭角をなす2直線の外側に沿った形で2曲線が続く場合



2. 互いに波状をなす同方向の2曲線が続く場合



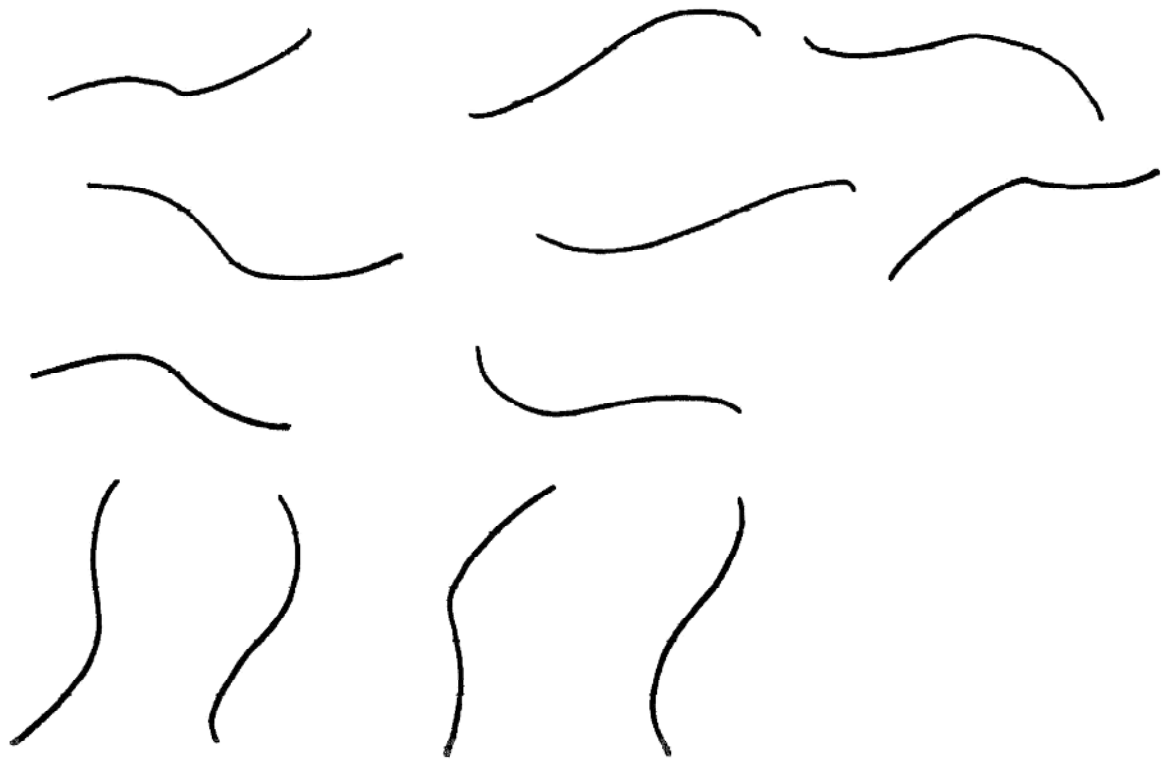
3. 直角をなす2直線の外側に沿った形で2曲線が続く場合



1～3は無理なく一筆化できます。

一筆化のように書きます。

4. 鋭角をなす2直線の内側と外側・外側と内側に沿った形で2曲線が続く場合

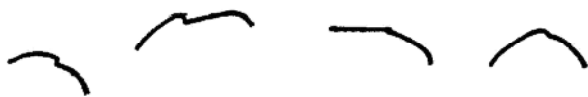


[ゆりつぎ]

1. ゆり上げ



2. ゆり下げ



## 7. くり返し記法

[中根正親]

前字の字尾に加点。

いろいろ      いよいよ      いろいろの      いろいろと      人々は



[中根正世]

1音ののくり返し……小丸カギ（長音と反対側・曲線は内側）

2音以上のくり返し……字尾に1 u 符号

いろいろ    いよいよ    たた    ささ    ちち    はは    そうそう    いろいろの



[森卓明]

やや      たた      ぼたりぼたり



[中根速記学校]

1音目は小丸カギ

2音目以上は前字の中央から180度の9 u 直線交差。

我々                      いろいろ                      人々の



[稲垣正興]

1 音目……ク尾音記法の角カギを反対側につける。

ちち      ここ      はは      やや      いささか



2 音目以上……中根速記学校に準ずる

[植田裕]

1 音目 直線……負側頭部に小丸カギ

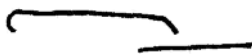
曲線……短線 (1 u) を直角につける。

2 音目以上……符号の下へ4 u ぐらいの直線。

ここ      つつ      まま      ささ      るる      ほぼ



ここだ



[菅原]

たた





# 8. 濁音記法

[中根正世・中根速記学校]



[中根正親]

ヅ=ズ

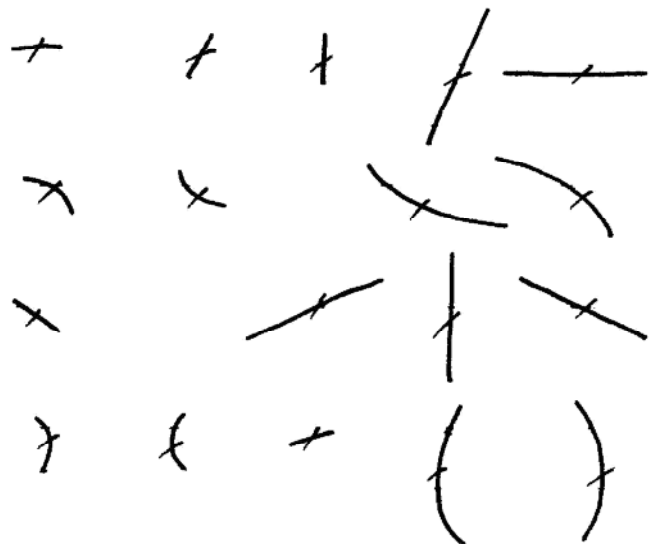


[森卓明]

ヅ=ズ



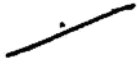



[中根速記学校・江森武]



[稲垣正興・植田裕]

ズ=ヅ      ブ



加点のヅ・ブ   は、発表当初万年筆で書いていたため濃線が出せなかったのですが、この形となっておりますが、現在ではシャープを使用するので濃線の   が書けるようになりました。(植田)

## 9. 半濁音記法

[中根正世・中根速記学校]

パ

ピ

プ

ペ

ポ

)

>(

≡

⋄( ⋄)

[中根正親]

ピ

<(

[稲垣正興]

)

⋄(

≡

⋄( ⋄)

[植田裕]

)

{

+

{ }

# 10. 拗音記法 (拗短音・拗長音)

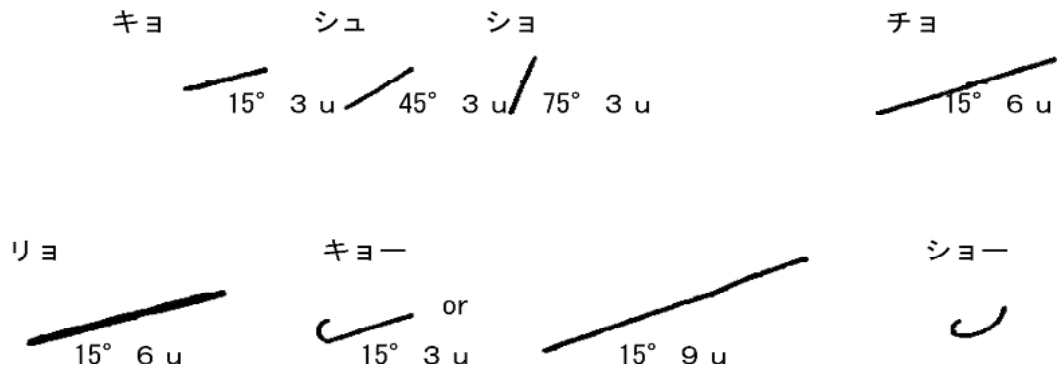
[中根正親、中根正世、中根速記学校、稲垣正興、森卓明]

キャ	キュ	キョ	キヤー	キュー	キョー
シャ	シュ	ショ	シャー	シュー	ショー
チャ	チュ	チョ	チャー	チュー	チョー
ニャ	ニュ	ニョ	ニヤー	ニュー	ニョー
ヒャ	ヒュ	ヒョ	ヒヤー	ヒュー	ヒョー
ミャ	ミュ	ミョ	ミヤー	ミュー	ミョー
リャ	リュ	リョ	リヤー	リュー	リョー

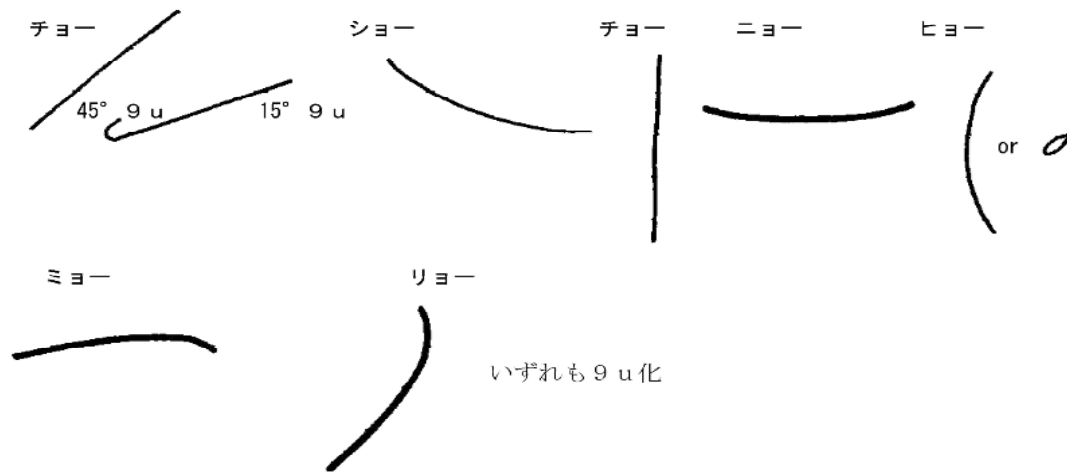
[中根正親]

クワ	グワ	グワー

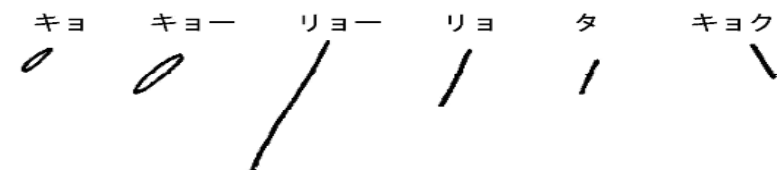
[植田裕]



昭和30年の「美しき線の流れ」では下記のように示されております。



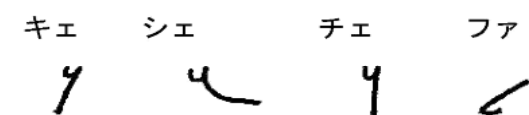
[兼子次生]



[長岡商業]




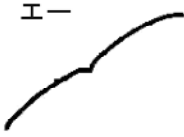










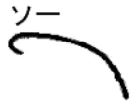



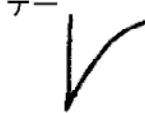
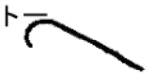












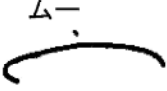

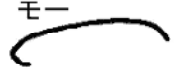





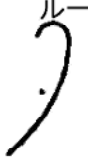


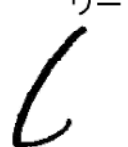


[菅原] (昭和46年3月)




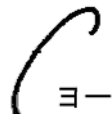
# 11. 長音記法

[中根正世]







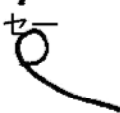










アー	イー	ウー	エー	オー
				
カー	キー	クー	ケー	コー
				
サー	シー	スー	セー	ソー
				
ター	チー	ツー	テー	トー
				
ナー	ニー	ヌー	ネー	ノー
				
ハー	ヒー	フー	ヘー	ホー
				
マー	ミー	ムー	メー	モー
				
ヤー		ユー		ョー
				
ラー	リー	ルー	レー	ロー
				
ワー				
				

[中根正親]

中根正世との違いはヤ行は

 ユー  ヨー を使用します。

[中根速記学校]

アー	イー	ウー	エー	オー
				
	中根正世に準ずる		中根正世に準ずる	
カー	ケー		ケー	
中根正世に準ずる				
	シー		セー	
				
	チー		テー	
				
	ニー		ネー	
				
	ヒー		ヘー	
				
	ミー		メー	
				
	リー		レー	
				

[森卓明]

中根正世のウ列・オ列に準じます。ア列・イ列・エ列は不明。



[稲垣正興]

アー  
カー  
サー  
ター  
ナー  
ハー  
マー  
ヤー  
ラー



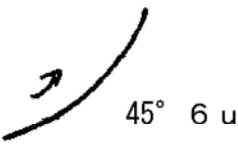
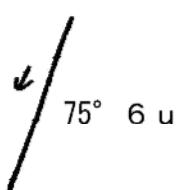
ウ列・オ列は中根正世に準じます。  
イ列・エ列は中根速記学校に準じます。

[植田裕]

ア列・ウ列・オ列は中根正世に準じます。イ列・エ列は中根速記学校に準じます。

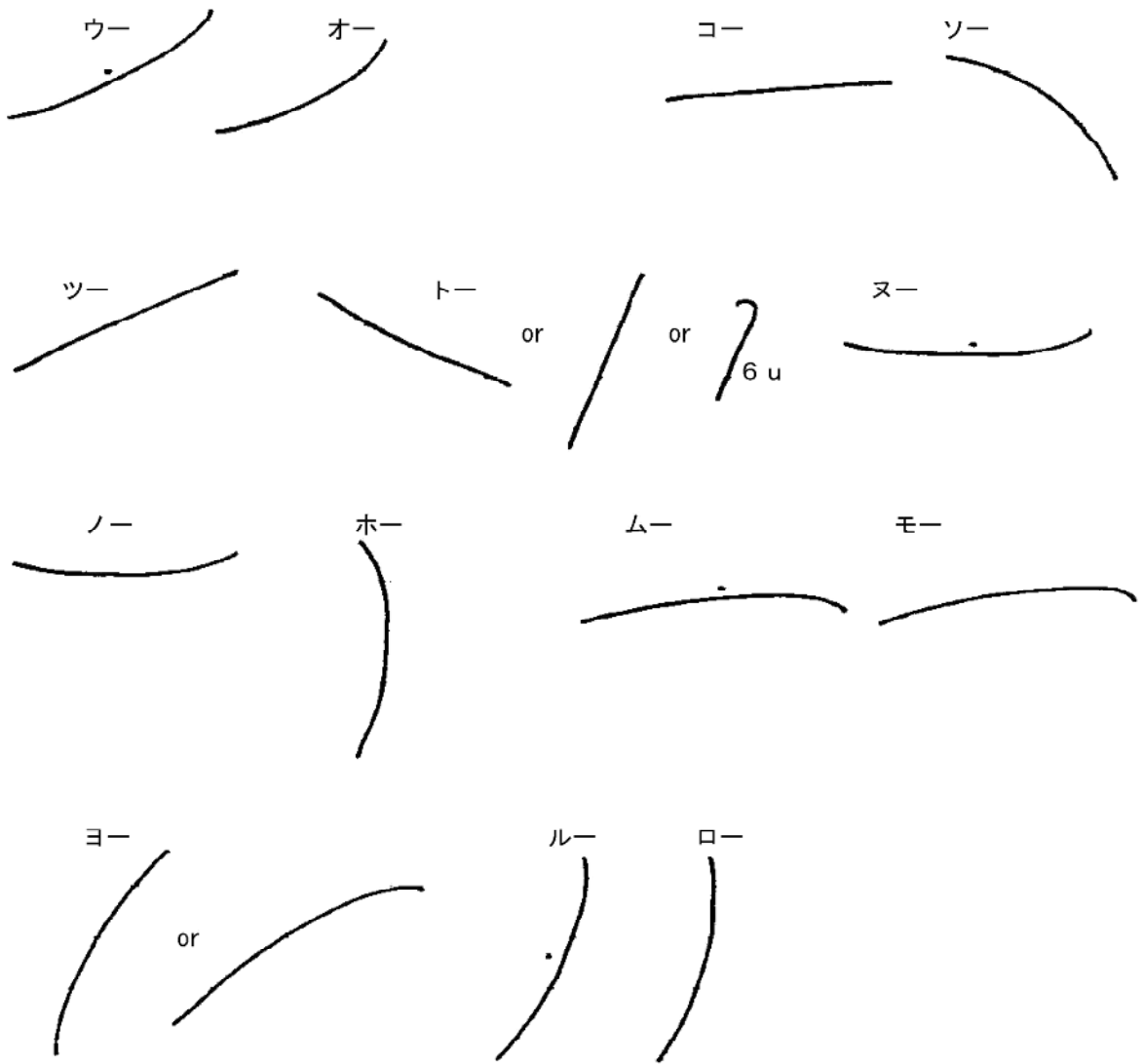
例外

クー          スー          ソー          トー

昭和30年の「美しき線の流れ」では、下記のような速記文字を併用しております。

6 u の長音・拗長音は大カギを略して 9 u 化できます。



## 12. 詰音記法

1. 前符号の尾部に後符号の頭部を交差します。
2. ただし、同方向で交差することができないときは平行にします。

[中根正親、中根正世、中根速記学校、稲垣正興、森卓明、植田裕]

○ッ○

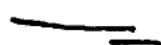
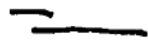
立派

かっこ

まっか

国家

学校



[中根速記学校]

○ッ○ | |

省略

復活

密接

発達

発展

欠席

全く



物質

出発

結婚



○ッ○イ

省略

一体

一切

決定

絶対

北海道



[植田裕]

○ッ○ | |

省略 ダッシュ

' なれてくるとダッシュを省略してもよい。

絶対

一般

欠陥

北海道

欠席



日赤

詰音

○ン

大カギ



## 13. 改良基本文字

### 1. 加点線改良案

〔森卓明〕（昭和7年8月）

ウ ス ヌ ム ル ワ  
㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅

〔浜田喜一〕（昭和8年4月）

ウ ス ヌ ム ル（9 u化）

㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅

〔中根正世〕（昭和27年4月）

ウ ス ヌ ム ル（1 u化）

㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄

〔土田利雄〕（昭和9年6月）

ウ ス ヌ ム ル

㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄

「ウ」のみ9 u化

### 2. 濃線改良案

〔石村善左〕（昭和24年）

ク ニ ネ ミ メ ユ リ レ ワ  
㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌ ㇍ ㇎

ロ

ノ

中根24年式より

菅原 (昭和49年)

ニ

ネ

ミ

メ

ワ

ニ

ノ

ミ

メ

ワ

## 14. ウ列加点文字

[森卓明]

### 1. 無加点文字

ウ ス ヌ ム ル ワ

ウ ス ヌ ム ル ワ

### 2. ウ列加点文字 (昭和32年8月16日研究)

うす 留守 住む あす スリ 旨

うす 留守 住む あす スリ 旨

久留米 霞 鶴

久留米 霞 鶴

### 3. ウ列加点応用

牛 馬 ウナギ 受け ウツボ 稀有 買う 子馬

牛 馬 ウナギ 受け ウツボ 稀有 買う 子馬

見受け 手薄 身内 受け売り 田植え 見失い

見受け 手薄 身内 受け売り 田植え 見失い

## 15. ア行表象法

[森卓明]

上段……ア・オ

中段……ウ

下段……イ・エ

集め

美しい

いつ

余り

うまい・生まれ

今



思い

思う

あなた

受け

上げ





## 16. 頻出音節縮記法

[兼子次生著・研究ノート]

### 1. ～オ列＋る ……\ (植田裕)

起こる      残る      守る      凍る      つもる

しぼる      かおる

### 2. ～エ列＋る ……/ (植田裕)

負ける      述べる      建てる      書ける      向ける

つける

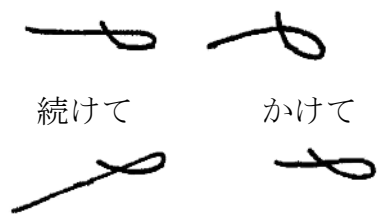
### 3. ～れば (植田裕)

つけ方      見れば      すれば      くれば      降れば

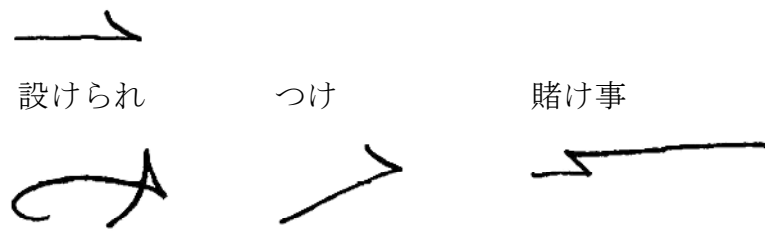
### 4. ～れば～ほど (稲垣正興)

見れば見るほど      やればやるほど      なればなるほど      すればするほど

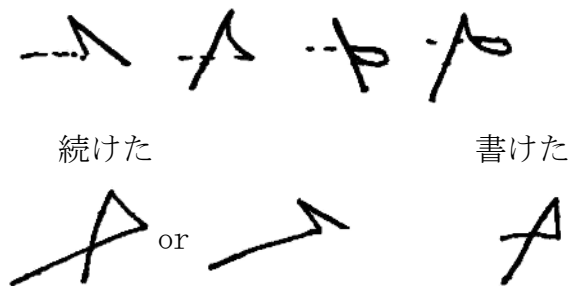
5. ~エ列+て (植田裕)



6. ~け (兼子次生)



7. ~エ列た (兼子次生)



# 17. ウスヌムル縮記法

## 1. ウ尾音記法

〔中根速記学校〕池田正一

2音目……大カギ（長音で処理）。処理しがたいものは大カギ内加点。

3音目以下……大カギ内加点。

もらう 買う 払う アウタルキー

    カウ→コウ

もらう 買う 払う


   カウ→コウ、ラウ→ロウ

〔中根速記学校〕江森武

2音目……負側頭部加点。

3音目以下……負側尾部に加点。

買う 食う 稀有 子牛 もらう 払う

〔植田裕〕

2音目……有尾大円逆記。

3音目以下……加大大円逆記。

もらい もらう 払い 払う






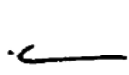

## 2. ス尾音記法

〔中根速記学校、稲垣正興〕

2音目……頭部加点。

3音目以下……枝出し。

バス カス テニス 椅子 テスト コース コスモス

[菅原]

すし	キスカ島	コスモス	エスキモー	少し
スピード	スト	ストップ		
	or			

3. ヌ尾音記法

[中根速記学校] 池田正一

- 2音目……頭部負側加点。
- 3音目以下……後部内空間。

犬	地主	手ぬぐい	平沼	鶺鴒沼	知らぬ

[植田裕]

- 2音目……加点小円。
- 3音目以下……加点小円。

犬	地主	手ぬぐい	知らぬ	タヌキ

[中根速記学校] 江森武

			⇒ u
手ぬぐい	犬	絹糸	平沼

#### 4. ム尾音記法

[中根速記学校、植田裕]

2音目……頭部正側加點。

3音目以下……尾部交差。

ダム

義務

スクラム

統計事務所

入り込む

[植田裕]

スクラム

#### 5. ル尾音記法

[中根速記学校、稲垣正興、植田裕]

2音目……中楕円。

3音目以下……ツノ出し。

車

昼間

光る

困る

守る

## 18. インツクキ法

中根式の代表的な縮記法の1つであり、線の頭部にサイン符号をつけて書きます。

インツクキ法には逆記法と順記法があり、順記・逆記を併用した形もあります。


※従来の中根式には逆記法しか存在しておりません。


### 〔逆記〕


インツクキ法の基本形は中根正世であらわし、以後は各大系の違いであらわします。

#### 2音目

イ……大 円 

ン……小 円 


ツ……小 楯 円 


チ……有尾小円 

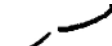
ク……角 カ ギ 


キ……有尾大円 


#### 3音目以下


大 円 

小 円 

尾部空間 

加点小円 

ツノ出し 

加大大円 

### 〔例〕

会期



例年



社会



予定



活路



必要



能率



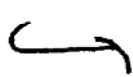
開発



日没



工作



拍手



特別



石油



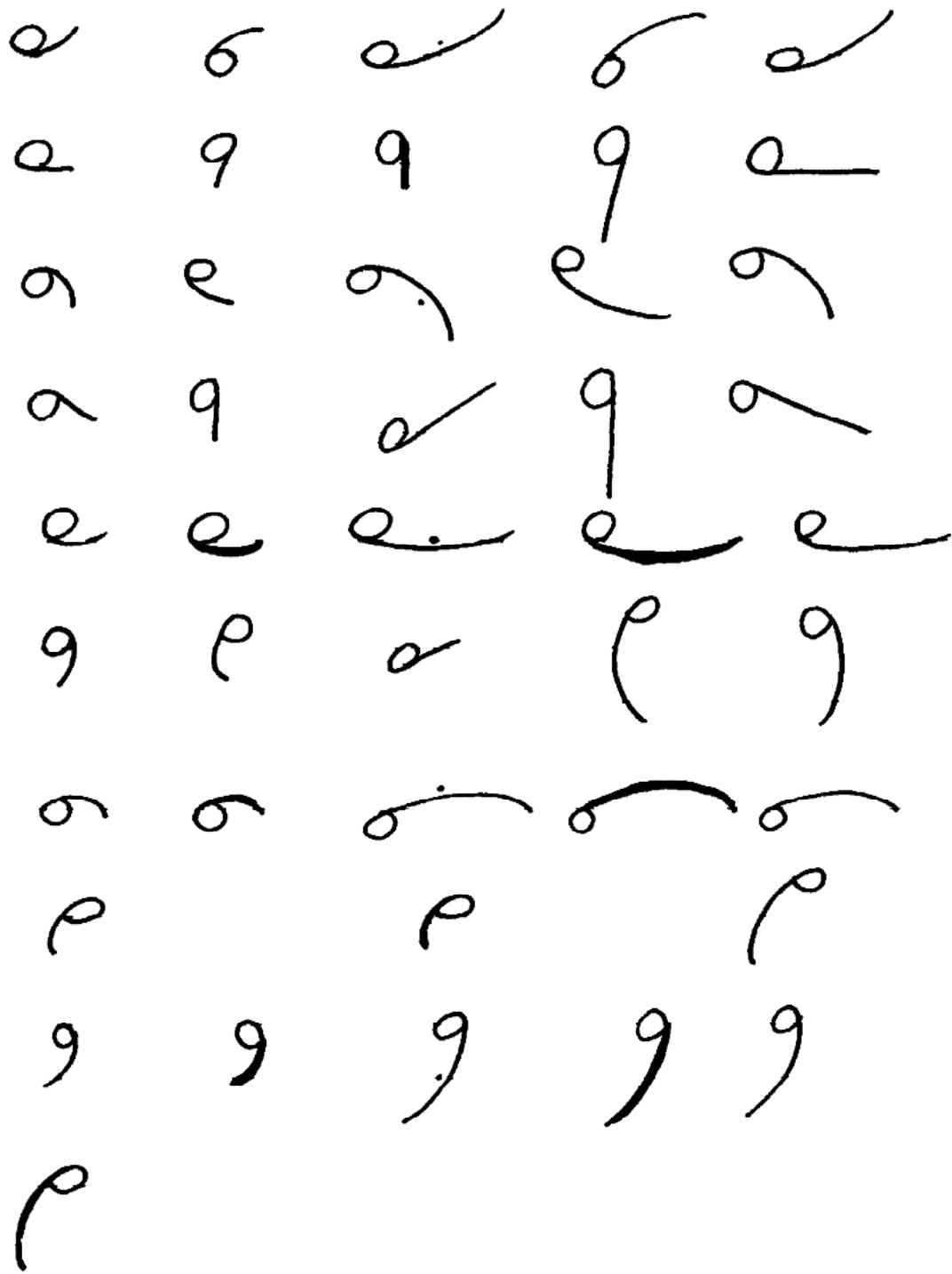
さつき



毎日



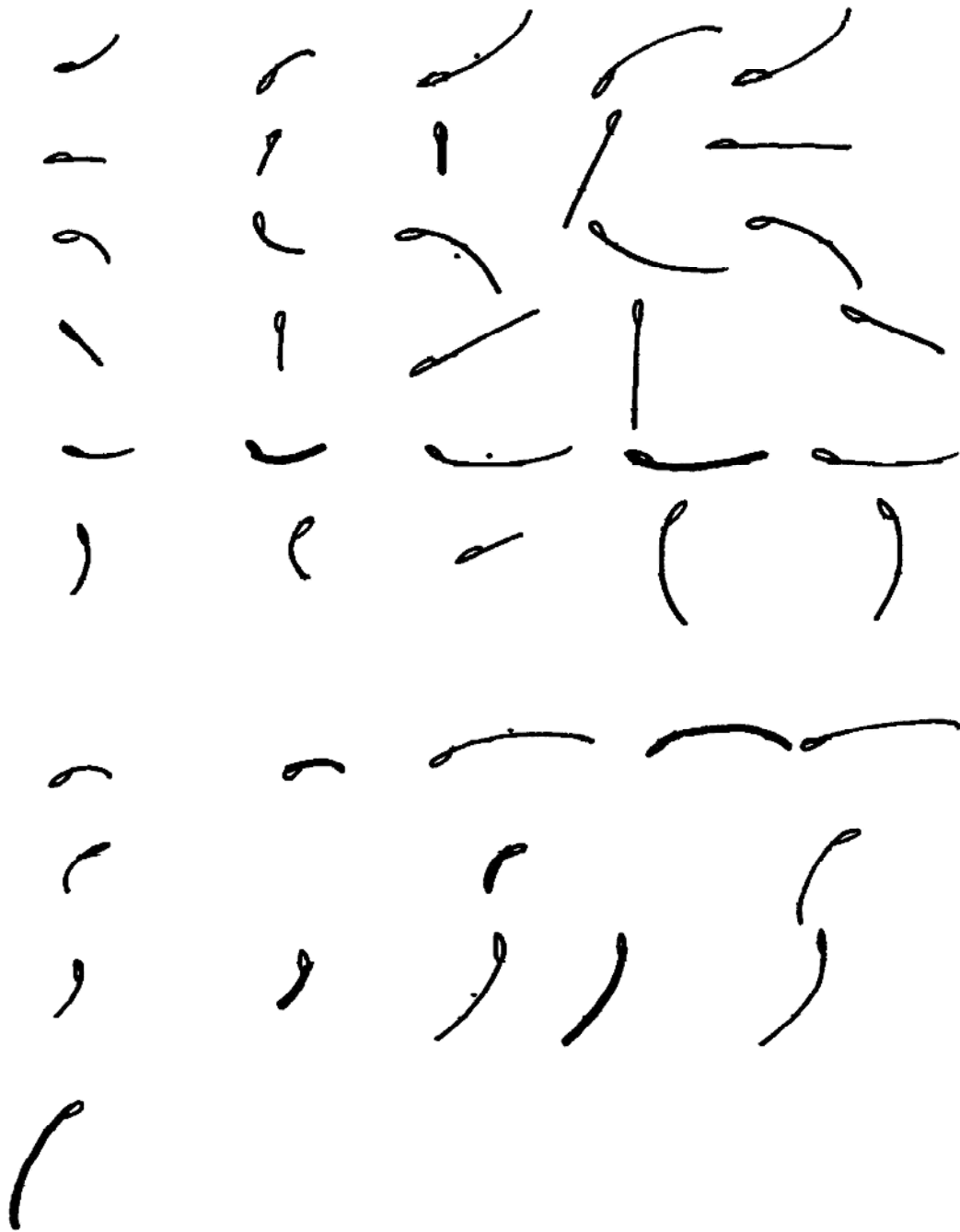
[イ尾音記法]



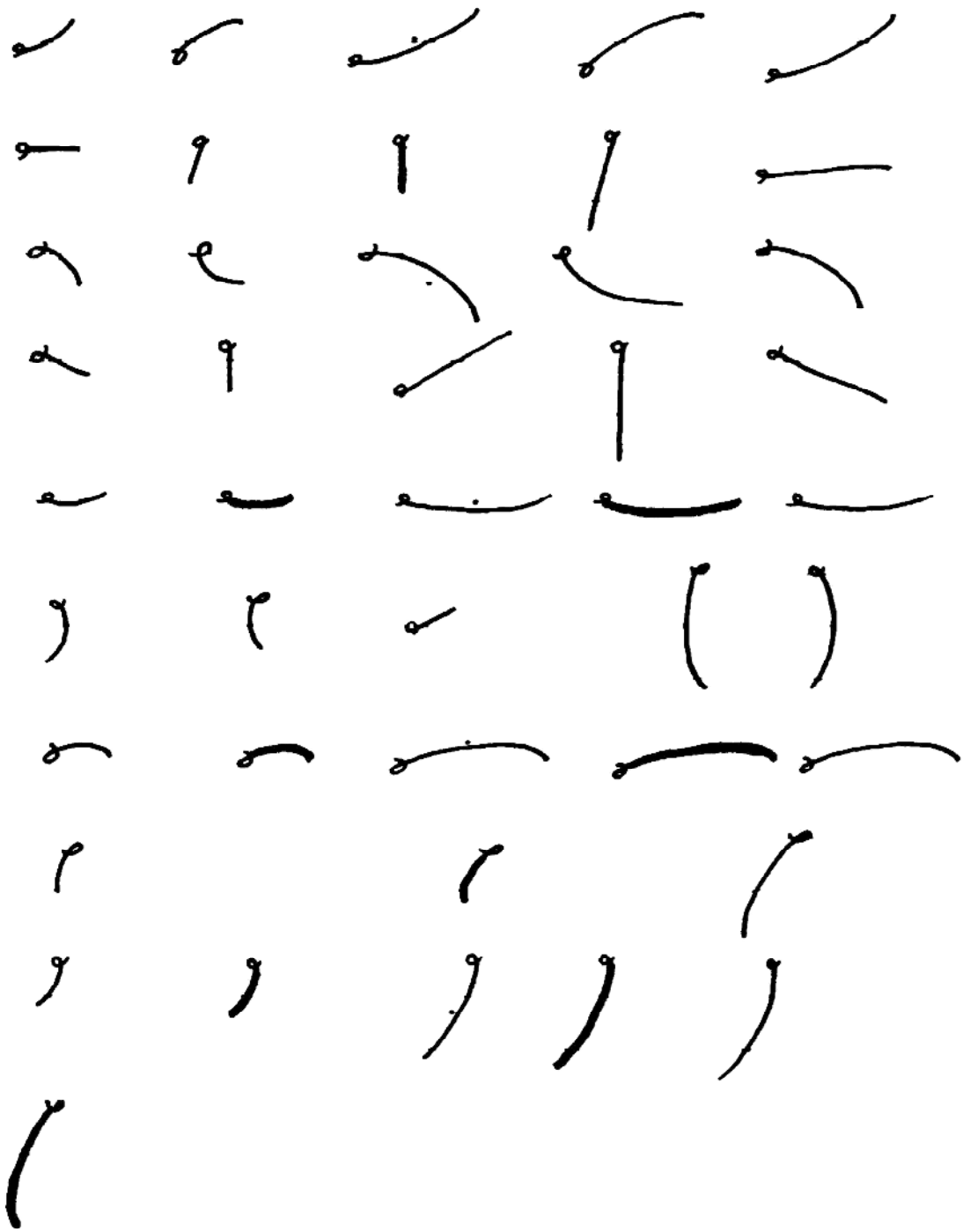




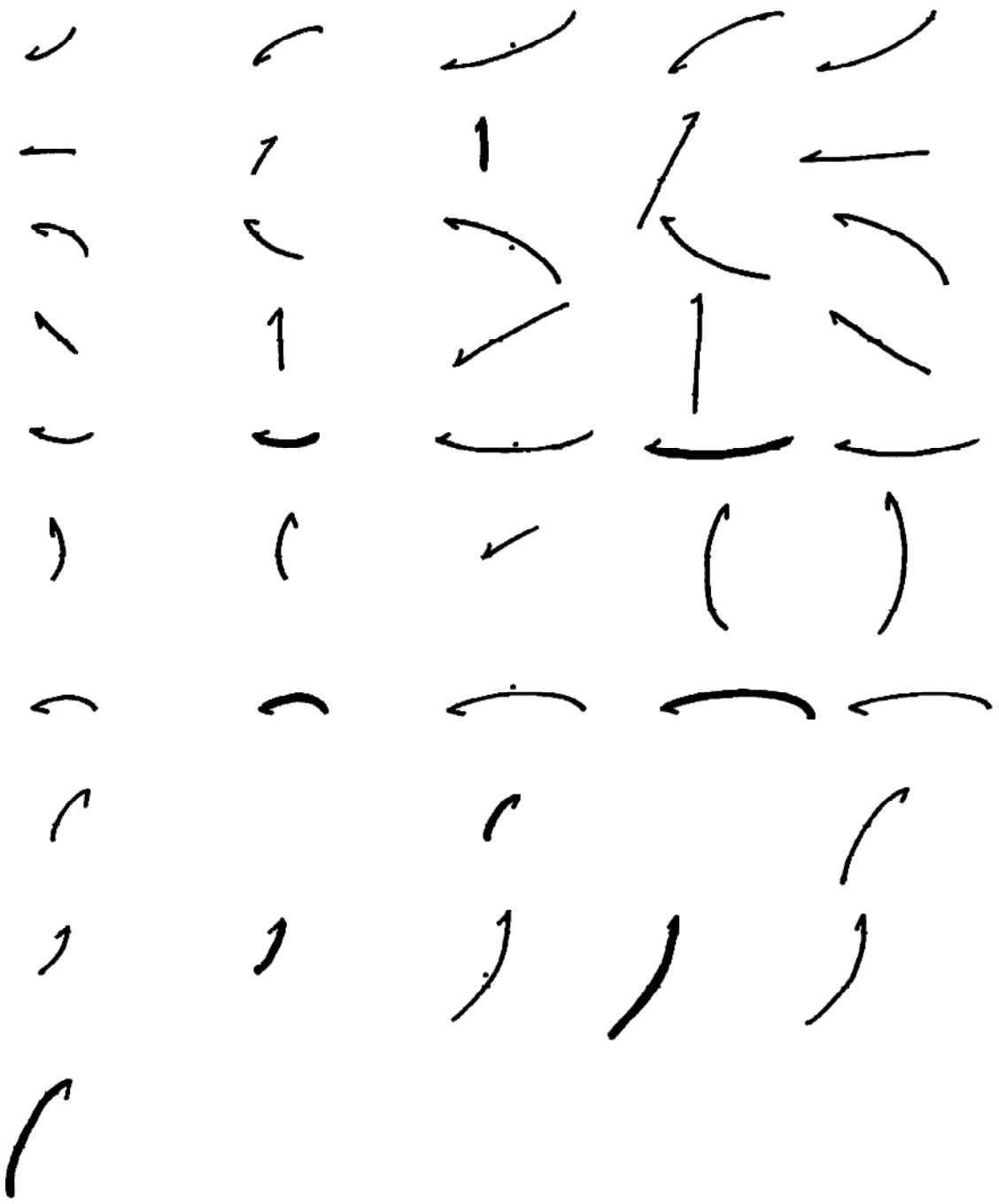
[ツ尾音記法]



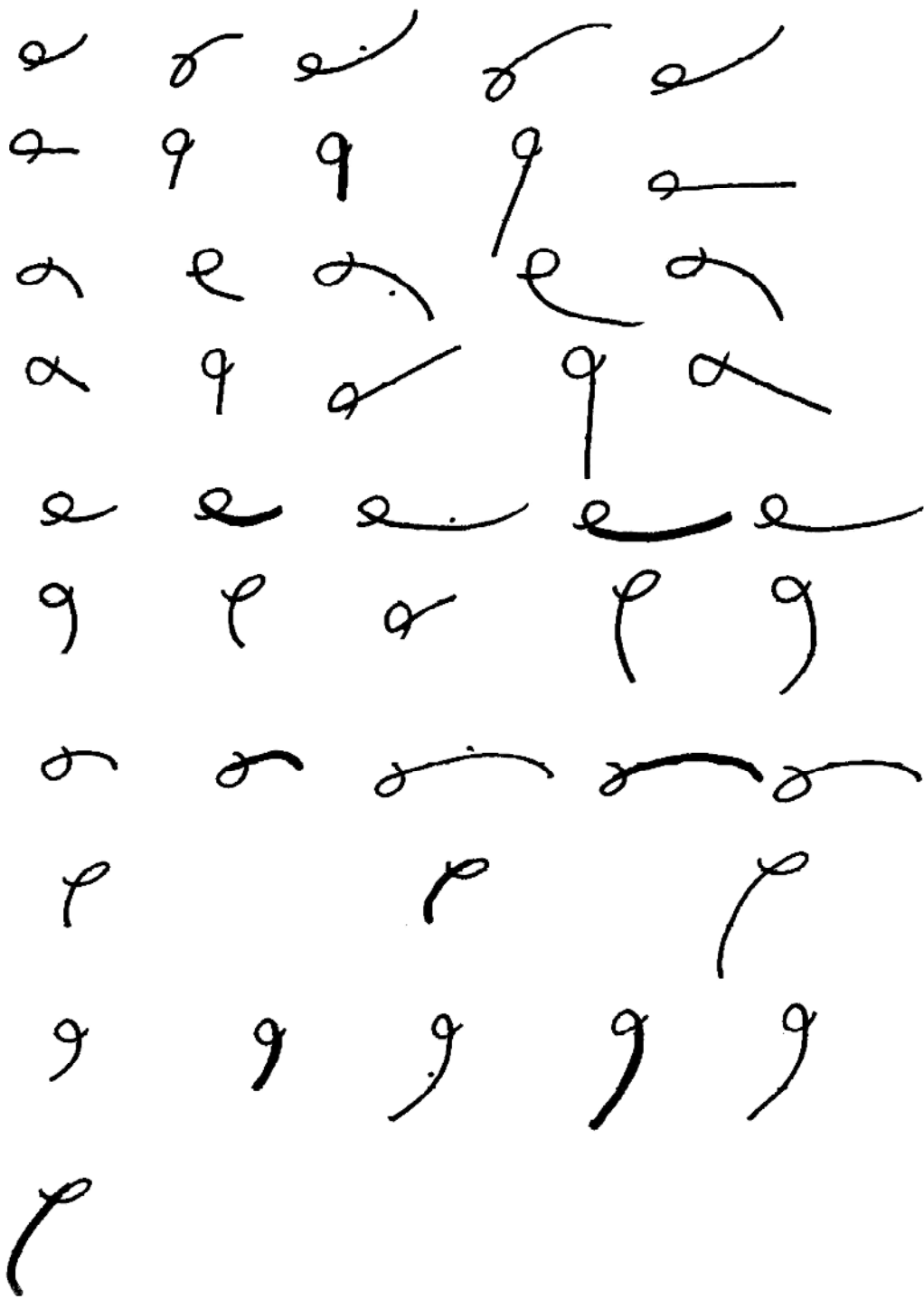
[千尾音記法]



[ク尾音記法]



[キ尾音記法]



以下は各大系における相違部分について書くと下記のとおりです。


[中根正親、森卓明]


ク……小丸カギ  小丸カギ 

[中根速記学校]


ツ 尾部空間 

チ 尾部空間 


キ 尾部交差 

平 行 

[稲垣正興]

ツ・チ……有尾小円 尾部空間 

キ 尾部交差 

平 行 

[長岡商業]

イ 尾部空間 

[例]

経済 警察 ※イとツは空間の幅に注意!!



拗音+インツクキ法

[森卓明、稲垣正興]

キヤク シヤク チャク ニヤク ヒヤク ミヤク リヤク



[中根速記学校、植田裕]

キャク シャク チャク ニャク ヒャク ミャク リャク

[中根正世]

キャク シャク ショク シュク チョク

[中根速記学校、稲垣正興]

シュク ショク リョク チョク キョク

[森卓明]

シュク ショク キョク チョク リョク







[植田裕]

シュク ショク キョク チョク リョク

[稲垣正興]







シュン・シヨン  
  
「ツン」

[中根正親]





シュン	シヨン	チャン	ミヤン	シャク	シヨク	ヒヤク	チャク
							
キヤク	リヤク	シュツ	シャツ	チュツ	リヨク	シャン	
							

詰音+インツクキ法

[中根正世、中根速記学校、植田裕]

復活	密接	発展	欠席	全く	結婚
					

[森卓明]

失脚	立脚	決着	結局
			

[植田裕]

イ尾音記法……大円を逆記します  
┌ 直線……正側  
└ 曲線……内側

2 音目 

3 音目以下 

### 1 u イ尾音記法 (特定符号)


漢字 1 字を音読して○イとなるとき	ア列	イです。
	エ列	
	ス	
	ツ	
	ユ ル	

ア列符号とエ列符号は異形のため、大円を逆記しないで符号自体を 1 u 化しても区別できます。

アイ カイ サイ タイ ナイ ハイ マイ ヤイ ライ ワイ



エイ ケイ セイ テイ ネイ ヘイ メイ レイ



スイ ツイ ユイ ルイ



※ [森卓明] スイ



### 用法

#### 1. ○イの形……頭音の場合

態度

第 1 回

内閣



#### 2. ○イ○イ

##### ①. 1 u + 1 u

再々

毎々





②. 6 u + 1 u

3 u + 1 u

経営

命令

財政

会計

ノ

フ

フ

フ

③. 交差 ○イ○イ

改正

丁寧

携帯

マ

ト

メ

3. ○ツ・チ+○イ

発明

メ

4. ○ン○イ

関係

フ

※○イのみのときは大円逆記

税の話

ル

特定符号「セイ」

ノ

フ

75° 1 u

45° 1 u

政府

制度

税制


ノ

フ

ル

N尾音記法……小円を逆記します  
 〔直線……正側  
 〔曲線……内側

2音目 

3音目以下 

### 1 u N尾音記法 (特定符号)

N尾音記法は、1 u 化した符号を原則として頭部に使用します。

	ホン	ソン	セン	シン	レン・ロン
ハジク	ノ	ヽ	ノ	ノ	ノ

	コン	カン	トン	ケン	テン	ヘン	セン	タン	トン
ハネル	フ	→	→	ノ	レ	ノ	ノ	ノ	ノ

	ウ列+ン	エン
トメル	ノ	ノ

### 1. ○ン○ ハジク符号に対しては、次符号をズラシ書き

本部	損保	戦時中	審議会	論議
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ

ハネル符号に対しては、次符号を  
 〔ズラシ書き  
 〔連続

※いずれか書きやすい方

今後	今度	幹事	幹部	見地	電気	電話
フ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
変化	選挙	選手	権威	団地		
フ	ノ	ノ	ノ	ノ		

トメル符号に対しては、次符号を**連続**

軍事	文化	援護	援助	原子力発電所
㇏	㇑	㇒	㇓	㇔

2. **○ン○ン** 最初の○ンがハジク、トメル符号のとき使用

本分	宣伝	新年	ロンドン	運転	円満
㇕	㇖	㇗	㇘	㇙	㇚
新鮮	完全	前進	先進国		
㇛	㇜	㇝	㇞		

3. **○ン○ ||**

本会議	損害	心配	先生	親愛
㇟	㇠	㇡	㇢	㇣

今回	検定	
㇤	㇥	.....例外

県警	団体	論説	本日	先日	前日
㇦	㇧	㇨	㇩	㇪	㇫

親切	分割	演説	今日	間接	検閲	団結
㇬	㇭	㇮	㇯	ㇰ	ㇱ	ㇲ

本格	損得	全国	深刻	連絡	婚約	勧告	見学
ㇳ	ㇴ	ㇵ	ㇶ	ㇷ	ㇸ	ㇹ	ㇺ

天国	地獄	短絡	文学	本籍	損益	鑑識
ㇻ	ㇼ	ㇽ	ㇾ	ㇿ	㈀	㈁

現役



分析



こんな



〔兼子次生〕

本会議



損害



県警



前日



## 参考文献

### N尾音記法の歴史的背景

昭和26年ごろから研究され始めて、昭和30年の「美しき線の流れ」で発表されたものは下記のとおりです。

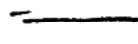
ウン	ケン	コン	テン	ヘン・ホン	ソン・シン	レン	エン
✓	/	-	/		\	/	L

1. 主として頭音に使用し、次符号は負側尾部に書きます。

「ウン」は次符号を直ちに連続します。

2. 尾音でも同方向、鋭角になるときには使用できます。

運動会	兼務	権威	今後	天気	電話	変則	審議
-----	----	----	----	----	----	----	----



原則



革新



答申



所信



シンをはねて ↙ 鋭角にします。

1 u セン符号

朝鮮



当然



先日



加点によるセン符号

セン〇〇の場合……正側頭部加点

繊維	全部	前科	前途	宣言

〇〇センの場合……正側尾部加点

午前	当然の任務		健全な精神

〇ンセンの場合……負側尾部加点

安全	完全

ツ・ツ尾音記法……有尾小円逆記

2音目	有尾小円
3音目以下	空間逆記 (尾部空間)

町	活動	秘密	視察

語尾のツ・チの区別

もち	もつ	まつ	まち	
				[ツ尾音優先]

1 u ツ・チ尾音記法

テツ・チツ	ケツ
-------	----

徹夜	秩序	結論	欠員	高血圧

ク尾音記法……単画線（直線符号と、シュ、シヨ、キヨ、チヨ、リヨ）正側頭部に角カギ逆記

アク イク カク サク シク タク ナク ハク ヒク マク ヤク ラク



シュク ショク キョク チョク リョク



角カギつき符号（キヤ、シヤ、チャ、ニヤ、ヒヤ、ミヤ、リヤ）+ク……大カギを省略し負側頭部に角カギ逆記

キヤ シヤ チャ ニヤ ヒヤ ミヤ リヤ



↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓  
キヤク シヤク チャク ニヤク ヒヤク ミヤク リヤク



線間に角カギが書きにくいとき……ツノ出し

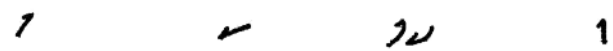
ロウドク

ケイカク



ク音1 u 符号

コク トク ソク リョク



75° 45° 45° 75°

国連

中国

国有鉄道

独立

朗読

特技

促進



規則	連続	俗悪	特に	特別に
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏

キ尾音記法……小丸カギ逆記

┌	直線……正側
	曲線……負側

書記	続き	知識
㇏	㇏	㇏

線間の小丸カギが書きにくいとき……尾部交差

利益	広域	つばき	方式
㇏	㇏	㇏	㇏

50音符号で書いた方が有利な場合

右	先	秋	月	駅
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏

キ尾音 1 u 符号

セキ	テキ
㇏	㇏
(アの 1 u カギ)	
75°	45°

責任	石油	赤十字	功績	責務
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏

適用



適切



相当



適当な



## 参考文献

昭和30年の「美しき線の流れ」では下記のとおりです。

テキ




適用



適用



コクの1 u 符号 (菅原 昭和56年10月)

発想……植田裕の  (国民) のリヤク符号をク尾音記法の角カギを「コク」に使用します。

※コクのあとに来る | | は省略します。

国民



国土



国道



国体



国際



国連



国有鉄道



## 〔順記〕

〔植田裕〕

今までは逆記法でインツクキをあらわしてきました。この項において植田裕の順記法でインツクキ法をあらわします。

1. ○ | ㄱ | ○ウ イの大円・ンの小円を順記します。

○ウが6 u のときは、大カギを省略し9 u 化します。



最高 外交 参考

回答 [兼子次生] 最高 外交 回答

○ウが3 u のときは、大カギを省略して「'」符号付加

歳入 参入 配給 介入 感謝 請求

追求 会社 転入学 [兼子次生] 会社 転入学 感謝

## 2. ○ | ㄷ | + 特定拗短音符号

イの大円・ンの小円を順記

特定拗短音符号を連綴

民主 文書 解除

## 3. ○ン○

暗記 漫画 [兼子次生] 暗記 漫画

## 4. ○ン○ | |

関係 見解 関西 年内 安定 音楽

金額



民族



印刷



近接



面接



認識



面積



5. ○ | ツ | ○



A

B

Aの中部からBを書きます。

松下



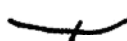
松本



三菱



NHK



打ち切り



必要



發明



哲学



活動



日米



設備投資



卒業



勉強



[兼子次生] 勉強



6. ○ ツ ○ ン ・ ○ ン ○ ツ

発言



実現



発音



印刷



7. ○ ク ○ イ

拡大



学生



作成



白書



8. キ尾音順記法

適当

北大西洋条約機構



9. 大円順記

まじめ

始まり

らしい

朝日新聞



10. 大カギ順記法

1) 単純順記

農家

要素

ブーム

夫婦

能子



2) 楕円化順記

数字

消費

消費者

商業

常任理事会

給与ベース



3) 1音省略

スポーツ

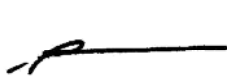
青少年

全員集合

批評家

ストーブ

飛行機



11. ク尾音符号の頭音への利用

首

組

番組

くせ

くせ者



○ン○ク

音楽

金額

民族

婚約

文学

ノ

ノ

ノ

ノ

ノ